

自然資本で再び輝ける新たな拠点へ 大阪環状ベイエリア構想

2025年11月

一般社団法人日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)
関西委員会

I. 現状と課題

1. 関西の特徴

- ・歴史：長く日本の都として繁栄（難波宮、平城京、平安京）
 - ・風土：日本の玄関口として、人や文化を受け入れてきた先進的地域
 - ・文化：地域に根付いた、多様で厚みのある文化を形成
 - ・産業：第二次産業が集積（電器、繊維、医薬品等）し、戦後の高度成長を支える

その中でもベイエリアは、

- ・空港・港を構え、関西の人流・物流の拠点
 - ・対外的な玄関口・水都としての役割
 - ・大阪湾、瀬戸内という豊かな海に面した、
生活、レジャーの拠点
 - ・工業地帯として、日本成長を支える基盤

関西ベイエリア



(出典)国土交通省近畿地方整備局
大阪湾環境データベースHP

I. 現状と課題

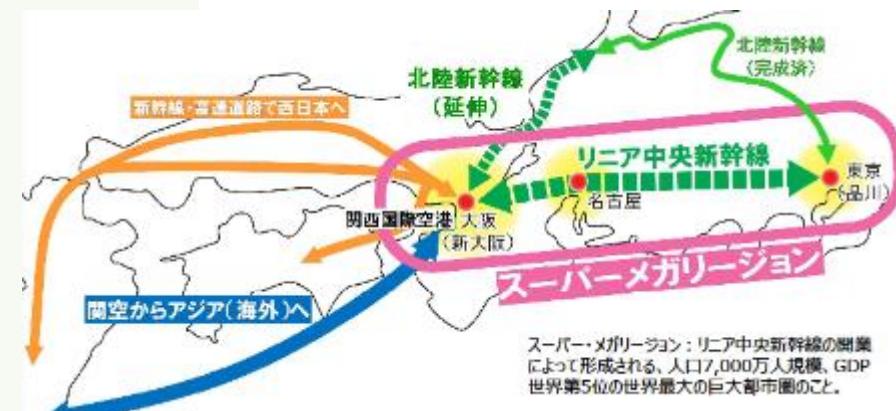
2. 関西の課題と変化

- ・関西の人口は2010年をピークに減少。人口流出も進行。
ex. 人口減少率は、三大都市圏(関東・中部・関西)の中で最も高い。
- ・域内総生産は微増も、日本国内における相対的な地位が低下。
ex. 域内総生産の全国比率 1990: 17% → 2020: 15.3%
- ・主力であった電器産業等の国際競争力低下。

- ・他方、関西は今後、以下の大変な変化を迎える。

- ・2025年「大阪・関西万博」による
イノベーション機運
(いのちと健康)

- ・リニア、北陸新幹線開業による
「メガリージョン」の西の玄関
→拠点としての重要性の高まり



(出典)国土交通省
「スーパー・メガリージョン構想検討会」

I. 現状と課題

3. 新たな変化の流れ

①カーボンニュートラル

- ・2050年脱炭素社会に向けて、**自治体はゼロカーボンに取り組み。**
民間企業も実行主体となり、官民組織による取り組みも進行。
ex.大阪市「ゼロカーボン おおさか」
神戸市「地球温暖化防止実行計画」

②生物多様性

- ・生物多様性の損失を止め、回復させるための緊急の行動を促すこと等を目的とする**「昆明モントリオール生物多様性枠組」**が採択(2022)
- ・30by30 の実現へ向けて、関西エリアでも**「自然共生サイト」(OECM)**の認定が進む。

※30by30とは、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標

→今後の都市や地域の魅力・競争力を高める不可欠な要素に

30by30アライアンスロゴ



(出典)環境省

I. 現状と課題

4. 大阪環状ベイエリアのポテンシャル

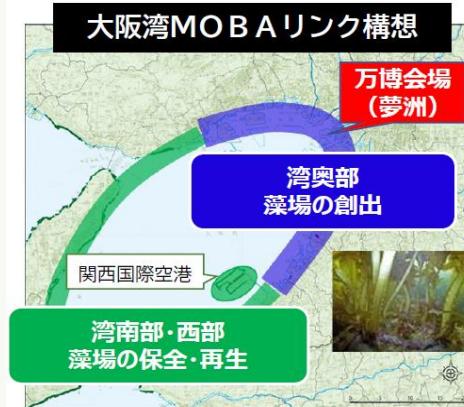
- ・古くからの玄関口。現在も外から人・モノを受け入れる場所(空港、港)
 - 人流・物流の大動脈
 - 多様なものを受け入れ、人の交流が生まれる場所
- ・カーボンニュートラル時代の、新たなイノベーションの拠点
 - 高度成長を支えた従来型産業からの新たな転換の拠点となり得る
- ・人の安らぎを生み、生物多様性の源としての海を有する
 - 特に大阪泉南～淡路島エリアは豊かな自然と穏やかな環境を色濃く残す

高度成長を支えた関西ベイエリア工業地帯



(出典) 大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン

大阪湾再生の取組み



(出典) 大阪湾MOBAリンク構想(大阪府)

大浜海水浴場



(出典) 淡路島観光協会

II. 将来像と提言の方向性(Target2050)

1. 関西が目指す姿（ありたい関西）

①将来にわたる持続的なイノベーションの拠点

- ・多くの経営者を生んだチャレンジ精神に富む風土、進取の気性を活かした持続的な改革を推進
- ・多様な人材、文化を受け入れ、新たな機会が生まれる場所

②カーボンニュートラル時代の新たな生活・産業スタイルの拠点

- ・これまで培った技術を活かした、環境調和型産業への転換
- ・イノベーションを育む、自然共生型の、安心安全な生活
- ・誰もが自由に行き来できる、ふるさとのような場所

③変化や災害に対応可能な持続的でレジリエントな拠点

II. 将来像と提言の方向性(Target2050)

2. 大阪環状ベイエリアのありたい姿

エリアの機能を強化しつつ、自然資本を活かした
大阪環状ベイエリアの「再輝(リファービッシュメント)」を実現

①将来にわたって持続可能な「自然共生の場」

- ・経済活動と自然再生との共存(ネイチャーポジティブ)



②人が豊かに暮らせる「安心・安全の場」

- ・自然共生型の、安らぎの場所(ウェルビーイング)



③脱炭素社会を迎えるなかで、効率的・機能的に

- 「ヒトやモノが流れる場」(スマートインフラネットワーク)



II. 将来像と提言の方向性(Target2050)

エリア全体の大きなコンセプト

- ・海の恵みを活かした新しい産業、暮らし方、働き方を創造
- ・その活動を基幹となるインフラで下支えする。

*インフラ整備にあたっては、ネイチャーポジティブ及びウェルビーイングのコンセプトに影響を及ぼさないよう十分な調整が必要。



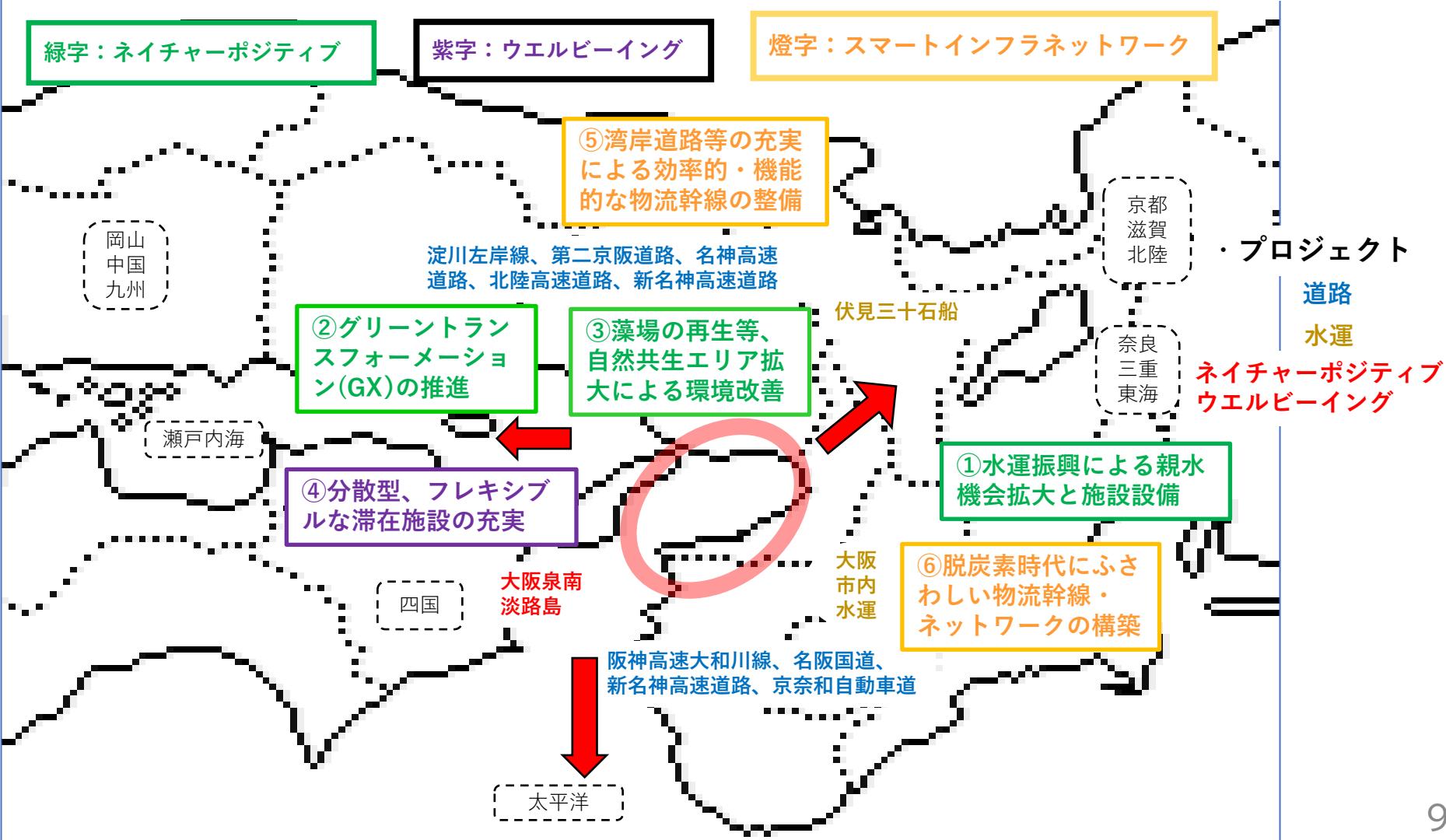
都市部と近接するエリア
= **ネイチャーポジティブ**
・経済活動と自然再生との共存
・GXの拠点

自然を色濃く残すエリア
= **ウェルビーイング**
・新たな働き方暮らし方

地域全体を支える幹線
= **スマートインフラネットワーク**

II. 将来像と提言の方向性(Target2050)

大阪環状ベイエリアを中心とした内陸部も含む関西圏の一体化が、人・物の動きの時間短縮と活性化、飛躍的な発展の起爆剤になる。



III. 提言プロジェクト(ネイチャーポジティブ)

提言1. 水運振興による親水機会拡大と施設整備

- ・イノベーション拠点の都市部と往来ができる水運の復活。
(EV船、水素船といった小型でフレキシブルな船を活用)
(堂島川-土佐堀川-木津川-道頓堀川-東横堀川 等)
- ・淡路島航路を含めた、ベイエリア全体を満喫できる航路を整備。
- ・併せて、小型船が着岸可能な桟橋を都市内及びベイエリアの拠点に整備して利便性を向上。
- ・イノベーションを促進する人流活性化の空間の創出。
- ・瀬戸内クルーズへの起点(夢洲等)

水素船の例



小型船用桟橋の例
(夢洲浮桟橋)



(出典) 岩谷産業HP

(出典) 大阪市HP

大阪都市部の水路



III. 提言プロジェクト(ネイチャーポジティブ)

提言2. グリーントランスフォーメーション(GX)の推進

- ・水素やアンモニア等脱炭素エネルギーの受入、貯蔵供給、製造の西日本拠点として活用。
- ・将来的に配備が見込まれる、空飛ぶ自動車、EV船活用に向け、その蓄電・給電基地、離発着基地を戦略的に配備(海の道、海のスタンド)。非常時は、地域電源供給の拠点としても活用

神戸液化水素荷役実証ターミナル『Hy Touch神戸』
(神戸空港人工島内)



(出典)NEDO

空飛ぶ車 (出典)経済産業省HP



蓄電・給電基地配置イメージ



III. 提言プロジェクト(ネイチャーポジティブ)

提言3. 藻場の再生等、自然共生エリア拡大による環境改善

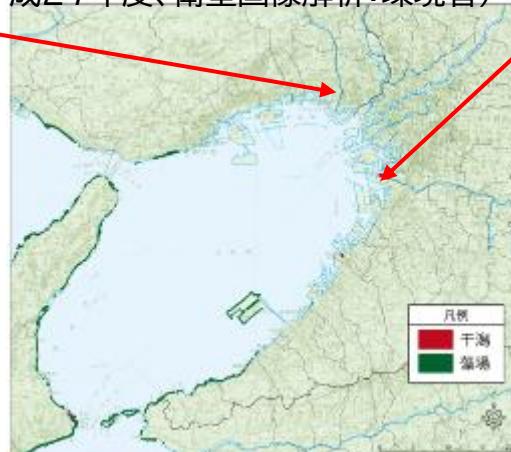
- ・大阪湾の藻場は、泉南～淡路島エリアにのみ分布。
→沿岸全体を藻場に（大阪府「大阪湾MOBAリンク構想」の実現）
- ・今後の埋立地は、緩傾斜護岸や藻場形成に適した技術・工法で造成を実施
ex. フェニックス計画地、神戸空港の滑走路延長、等
- ・都市部に近い沿岸部の低利用地域等は、環境再生機能（藻場、森林等）を有するエリアへ転換。

実施例) 堺浜自然再生ふれあいビーチ（元原料荷揚げ港湾）
尼崎の森中央緑地（製鉄所跡地）

尼崎の森中央公園



干潟・藻場の分布
(平成27年度、衛星画像解析:環境省)



堺浜自然再生ふれあいビーチ



(出典) 大阪湾環境データベース

III. 提言プロジェクト(ウエルビーイング)

提言4. 分散型、フレキシブルな滞在施設の充実

- ・大阪泉南～淡路島エリアの、豊かな自然と穏やかな環境を活かし、長期でも短期でも、仕事でも余暇でも滞在可能な、**包摂的な滞在エリア**を整備。関西以外からの来訪者、移住者やインバウンド需要も取り込む。
- ・大規模施設ではなく、**現地の環境と調和した、分散型の施設**を志向。
ex. 伊:アルベルゴ・ディフーヴ (ふるさとに暮らすように泊まる体験)
- ・自治体やDMOが主体となり、**受け入れの中核となる施設を整備**(その他は既存古民家等を活用)。長期滞在のための**通信インフラ等を強化**。

アルベルゴ・ディフーヴの概念図



環境と調和した施設(兵庫県丹波篠山市の事例)



(出典) 篠山城下町ホテルNIPPONIA HP

(出典) アルベルゴ・ディフーヴ インターナショナルHP

III. 提言プロジェクト(スマートインフラネットワーク)

提言5. 湾岸道路の充実による効率的・機能的な物流幹線の整備

- ・物流の大動脈であるベイエリアの高速道路ミッシングリンク早期解消より、
脱炭素時代にふさわしい、効率的な輸送を実現。
→大阪湾岸道路西伸部の速やかな完遂
- ・将来的には、淡路島も含む道路ネットワーク強化により、関西一円及び他地域
とも効率的物流を実現。
→紀淡海峡連絡橋の検討



III. 提言プロジェクト(スマートインフラネットワーク)

提言6. 脱炭素時代にふさわしい物流幹線・ネットワークの構築

- ・大規模港湾を有する大阪湾岸部には、物流倉庫等も集積し、関西の物流の大動脈となっている。
- ・従来の湾岸道路に加え、脱炭素化、省力化に向けた自動物流幹線を湾岸部の地下に整備。
- ・地下物流幹線は地上港湾と直結させ、環境負荷低減に貢献(トラック台数減他)。
- ・地下トンネルには、水素等搬送可能なエネルギーパイプラインも整備。

(参考)国土交通省「自動物流道路に関する検討会」資料より



JAPIC関西委員会幹事会 名簿

	氏名	社名	所属・役職名
委員長	矢ヶ部 昌嗣	日本製鉄(株)	参与 大阪支社 支社長
幹事	中村 隆治	大阪ガス(株)	エナソリ事業部 エナソリ業務部地域コミュニケーション室長
幹事	中瀬 和彦	(株)大林組	大阪本店 土木事業部 統括部長
幹事	仙波 尚史	鹿島建設(株)	関西支店 土木部 プロジェクト推進部長
幹事	神田 彰	(公社)関西経済連合会	理事・地域連携部長
幹事	高宮 紀子	関西電力(株)	ソリューション本部 開発部門 専任部長
幹事	平田 貴博	(株)神戸製鋼所	総務・CSR部 神戸プロジェクトグループ グループ長
幹事	永井 寿和	ジオスター(株)	営業本部 大阪支店 部長
幹事	松村 和幸	清水建設(株)	営業総本部 街づくり推進室 副室長
幹事	中井 学	大成建設(株)	関西支店 営業部長
幹事	寺田 高久	(株)竹中工務店	開発計画本部 企画管理部門 専任部長
幹事	白水 靖郎	中央復建コンサルタンツ(株)	代表取締役社長
幹事	小川 貴裕	(株)日建設計総合研究所	執行役員
幹事	高草木 誠	日鉄エンジニアリング(株)	大阪支社 支社長
幹事	田中 勝博	日鉄物産(株)	プロジェクト推進部 プロジェクト推進課 参事
幹事	山田 洋幸	(株)日本政策投資銀行	関西支店 部長
幹事	梅村 征司	日本製鉄(株)	大阪支社 部長(建材営業)
幹事	豊島 径	日本製鉄(株)	大阪支社 部長(建材技術)
事務局	丸川 裕之	(一社)日本プロジェクト産業協議会	専務理事・事務局長
事務局	林田 康洋	(一社)日本プロジェクト産業協議会	常務理事
事務局	島根 浩	(一社)日本プロジェクト産業協議会	事業企画部部長